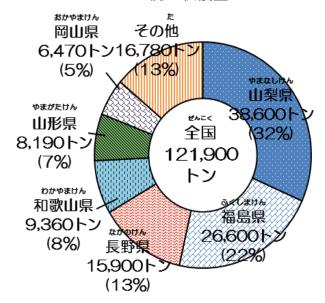
# もものお話

### 和歌山県の収穫量は西日本一!

下のグラフは都道府県別のももの収穫量を表しているよ。紀の川市、かつらぎ町を中心に栽培されている和歌山県のももの収穫量は9、360トンで、せんこくはない。昔話「桃太郎」ゆかりの地とされている岡山県よりも多くて、西日本(近畿地方以西)では1位なんだよ。

#### 桃の収穫量



平成27年産果樹生産出荷統計より

### ももは夏の果物の代表選手



いつ頃食べられるの?

和歌山県は、1年間を通じて、いろいろな果物が収穫されるので、「果樹王国」と言われているんだ。

夏に収穫される果物には、梅・びわ・すもも・もも・いちじく・ぶどうなどがあるけれど、ももはその代表選手として、お店にたくさん並べて売られているよ。

6月下旬から「日川白鳳」という品種の収穫が始まり、7月上旬から「白鳳」、7月下旬から「清水白桃」、8月上旬から「川中島白桃」が収穫され、お盆のころまでの約2か月間おいしいももが食べられるよ。

また、紀北地域には、直売所がたくさんあり、この時期には買いに来る お客さんでにぎわっているよ。

## ももの健康パワー!



県食育キャラクター「ももぴー」

しまもは、スポーツドリンクと筒じ成分の 実糖やエネルギー代謝を助けるナイアシンというビタミンが含まれているんだよ。

暑い夏の白、汗をかいたあとにももを食べると、失われた水分やエネルギーを補給できるよ。

また、 腸内 環境を整えてくれる 食物 繊維も含まれているんだよ。